遺伝子病検査の実施

ペットの専門店コジマでは、特に深刻な症状の遺伝子病のうち 確実に検査できる種類からはじめています。



進行性網膜萎縮症 (PRA)

【対象犬種】 **プードル、** ダックスフンド、 チワワ、 ヨークシャー・テリア、 ゴールデン・レトリーバー、 ラブラドール・レトリーバー

光を感知できなくなり、 失明する遺伝子病です。



フォンウィルブランド病 (VWD)

【対象犬種】 プードル、 ウェルシュ・コーギー・ペンプローク

遺伝性の止血異常症です。 血液が固まらずに出血しやすく、 止血しにくくなります。



変性性脊髄症 (DM)

【対象犬種】 **プードル、** ウェルシュ・コーギー・ペンプローク、 ボーダー・コリー、 フレンチ・ブルドッグ、 バグ、ジャック・ラッセル・テリア、 キャパリア・キング・チャールズ・スパニエル ビーグル、ラブラドール・レトリーバー

致死性の遺伝子病です。 後肢の麻痺からはじまり、 全身の麻痺になり亡くなります。

捕捉好中球症候群

(TNS)



GM1 ガングリオシドーシス

【対象犬種】



ピルビン酸キナーゼ欠損症

(PK欠損症)

致死性の遺伝子病です。 脳をはじめとする 全身臓器に異常が生じ 約15ヶ月齢位で亡くなります。



神経セロイドリポフスチン症 (NCL)

【対象犬種】 ボーダー・コリー



致死性の遺伝子病です。 免疫系が弱くなり 感染症にかかりやすくなります。 治療法はなく、 ほとんどが幼齢期に亡くなります。

【対象犬種】

ボーダー・コリー



多発性嚢胞腎

【対象猫種】 アビシニアン、 シンガプーラ、 ソマリ、 ノルウェージャン・フォレスト・キャット、 メイン・クーン、ラ・バーマ、ベンガル、 トイガー

エネルギー代謝に必要な 酵素の欠損により貧血を起こす 遺伝子病です。



(PKD)

【対象猫種】 エキゾチック、ヒマラヤン、ラガマフィン、 ミヌエット、セルカーク・レックス、 スコティッシュ・フォールド、マンチカン、 アメリカン・ショートへアー、バーマン、 ブリティッシュ、キンカロー、ラムキン

腎臓に嚢胞ができ、 それにより腎機能低下が起こり、 腎臓病、末期は腎不全に発展する 遺伝子病です。

該当のワンちゃん・ネコちゃん にはこちらのマークを 表示しています。

**この子は遺伝子病検査を受けています。

他にも安心してお迎えできる付帯サービス・限定特典をご提供しています。

駆虫プログラム・予防医療

マイクロチップ装着・登録

専任スタッフの健康チェック











2007



ワンちゃん・ネコちゃんを安心してお迎えしていただくために

ペットの専門店だからできる

クの安心



健康確認

遺伝子病検査

付帯サービス・限定特典



健康確認項目15項目50ヶ所以上のチェック内容							
視診	皮膚	口腔内	眼	耳	鼻	肛門	生殖器
触診	頭蓋	ヘルニア	体幹	尾	四肢	陰睾	膝関節
聴診	胸部	詳細はスタッフまでお問い合わせください。					

コジマではブリーダーより迎える際これらの項目を確認し、その時の状態が「状態-A」と判断された ご提供時に発症リスクが低いワンちゃん・ネコちゃんのみをご提供しております。

コジマのワンちゃん・ネコちゃんが子犬・子猫の頃の健康チェック一例

成長期の緩みがある程度で良好な状態 状態-A (手で膝のお皿の骨を押すと動かせる)



正常*

コジマのご提供基準

状態-B 膝を曲げるか手で膝のお皿の骨を押すと動かせる 成長期の緩みであるが悪化する恐れがある状態

状態-C 常に脱臼していて手で膝のお皿の骨を押すと元にもどるが自然には治らない状態 状態-D

常に脱臼していて手で膝のお皿の骨を押してももどらず自然には治らない状態

歩けなくなる可能性があり 手術が必要となる場合がある

雑音が確認できないか、 状態-A 聴き取れない程度の良好な状態



正常*

コジマのご提供基準

微かな雑音があり集中しなくても聴き取れる状態

中間程度の雑音があり状態-Bよりもハッキリと聴き取れる状態

大きな雑音で胸に手を当てると感じることができる状態 状態-D

心疾患の疑いがあり 手術が必要となる場合がある

白く濁っていない、または うっすら白く濁っている程度の良好な状態



正常*

コジマのご提供基準

ハッキリと白く濁っているが透過性はある状態

ハッキリと白く濁っていて部分的に透過性がない状態

ハッキリと白く濁っていて透過性がなく角膜が変形している状態

目に傷などがある可能性があり、失明 もしくは手術が必要となる場合がある

※ブリーダーよりコジマに迎えた際の確認項目チェックの判定です。生涯に渡る病気リスクを保障するものではありません。

スコティッシュ・フォールド特有の 病気(骨軟骨異形成症)に対しては

特有の病気の発症リスクを避けるためスコティッシュ・フォールドのネコちゃんでは発症リスクが高くなる 傾向があるとされるしっぽが通常と比較して「太くないか」「短くないか」「硬くないか」をチェックしています。